

特定秘密の保護に関する法律案の委員会強行採決に抗議する

政府与党は先ほど、国家安全保障に関する特別委員会において、野党の強い反対にもかかわらず、特定秘密の保護に関する法律案の採決を強行した。

同法律案については、国民の知る権利を損ねかねないなど重大な問題が含まれており、多くの国民の間に不安が高まっている。また、昨日の福島における地方公聴会でも、意見陳述人全員から反対の意や懸念が示され、慎重審議を求められたところである。

こうした中、与党が数の力で討論を封じ、採決を強行したことは極めて遺憾であり、断じて容認することはできない。この上本法律案の緊急上程を認め、採決を強行することは、民主主義の根幹を揺るがしかねない暴挙である。

伊吹議長におかれては、本法律案の緊急上程を認めず、特別委員会に差し戻すよう要請する。

2013年11月26日

民主党国会対策委員長

松原 仁

日本維新の会国会対策委員長

山本 とも子

日本共産党国会対策委員長

こくろ 真 二

生活の党国会対策委員長

小宮山 泰子

社会民主党国会対策委員長

照屋 寛徳